



朝一小だより

活気あふれ、心が躍い、みんなが幸せになる学校

Tel048-461-0052 <http://www.asakadailshou.city-asaka.ed.jp/>

学校教育目標

- ・考える子
- ・やさしい子
- ・たくましい子



朝霞市立朝霞第一小学校

令和8年7月1日

児童数 599名

日々の「出会い」を大切に！

校長 小林美加



7月に入り、早いもので一学期も授業日数が残り13日となりました。地域や保護者の皆様には、本校の教育活動にご理解をいただくとともに、読み聞かせや水泳指導の見守り、硬筆展の準備などご協力いただき本当にありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

先日の学校公開日には、たくさんの地域や保護者の皆様にご来校いただき、ありがとうございました。子供達が授業中に頑張っている姿や休み時間の様子などをご覧いただくことができ嬉しく思いました。その後、引渡し訓練も実施いたしました。震度5弱以上の地震発生を想定した避難訓練からの流れでしたが、確実な引渡しへのご協力に感謝申し上げます。また、個人面談にも、ご多用の中、ご来校いただき、ありがとうございました。短い時間ではありましたが、担任と顔を合わせて話をしたり、校内の様子や掲示物をご覧いただけたりする有意義な時間になっていれば幸いです。これからも、ご心配なこと等ございましたら、遠慮なくご相談に来ていただけたらと思います。

さて、学校の中庭では、1年生はアサガオ、2年生は各自選んだ野菜、3年生はハウセンカを一人一人が植木鉢で育てています。登校した子供達が自分の植木鉢に水をあげにきては、植物の成長にわくわくしたり、友達同士で互いに言葉を掛け合ったりする姿が見られます。何より、世話をしている子供達の誰もが優しい目で植物を見つめていました。なでしこファームや高学年の花壇にもいろいろな野菜が育てられています。生き物を育てる体験を通して、成長や変化、生命の尊さなど様々なことに気付いてほしいと思います。

来たる7月7日（七夕）は、織姫と彦星が一年に一度だけ出会える特別な日と伝えられています。元々は、乞巧奠（きこうでん）という中国の行事で、機織りや裁縫の上達を祈る風習から始まり、日本では奈良時代に伝わり、平安時代には宮中行事として七夕の行事が行われるようになったそうです。

学校には毎日たくさんの「出会い」があります。朝のあいさつ、友だちとの会話、先生との何気ないやり取りなど、それらは当たり前のようで、かけがえのない「出会い」です。

また、七夕にちなみ、短冊に願いごとを書くこともあります。 「こんなことができるようになりたい」「こんな自分になりたい」という子供達の願いには、それぞれの思いが込められています。その願いの先には必ず「出会い」があります。新しい友達との「出会い」、新しい考え方との「出会い」、そして今まで知らなかった新しい自分との「出会い」です。人は、さまざまな「出会い」の中で心を育てていきます。励ましてくれる人との「出会い」、時には意見を交わし合う「出会い」も、すべてが自分を豊かにしてくれる大切な経験であると思います。日々の学校生活の中にある一つ一つの「出会い」を、これまで以上に大切にしていくとともに、子供達の願いが、すてきな「出会い」へとつながっていくことを願っています。

ぜひご家庭でも、これからどんな「出会い」が待っているのかを楽しみにお話ししながら七夕の夜空を見上げてみてください。

暑さも厳しく、体調も崩しやすい時です。全員が元気で夏休みを迎えることができるよう、体調管理等、引き続き、ご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。

